

メタバー스를自らの手で！

ひょうごフィールドパビリオンの関係者が次世代のPR方法に挑戦 ～スマホを用いてメタバー스를作成する講習会を関係者向けに実施～



兵庫県では、地域の活動の現場そのもの（フィールド）を、地域の方々が主体となって発信し、多くの人に来て、見て、学び、体験していただく「フィールドパビリオン」の取組を進めています。

この取組のPRを強化するため、令和6年1月、フィールドパビリオンの「メタバース」をスマートフォンなどを活用して手軽に作成する技術を学ぶ講習会（ワークショップ）を関係者を対象に実施しました。

時期：令和6年1月18日（姫路）、19日（豊岡）、22日（神戸）

※県内3会場で実施（各13～17時）

内容：① メタバースの概要や近年の動向等の解説

② 3Dスキャン実習

③ メタバース・3Dモデル作成の基礎の解説

講師：株式会社Gugenka 代表取締役CEO 三上 昌史氏

NTTグループが提供する仮想空間プラットフォーム「DOOR」の開発に関わり、VRやARのプラットフォーム開発での経験多数。「DOOR」公式イベントでのセミナーや空間構築研修など講習会実績も多数。

サンリオXR事業、日テレClaN Entertainmentなど大手企業のXR（AR、VR、MR）分野の顧問を務め、XR業界における第一人者のひとり。

世界最大のアニメ公式デジタルフィギュア「HoloModels」をはじめ、進撃の巨人、セーラームーン、プリキュア、コードギアスなど人気アニメのXRコンテンツをプロデューサーとして多数手がける。

A promotional poster for a workshop. The background is a dark blue gradient with a subtle pattern of light blue and white geometric shapes. At the top, the text "ひょうごフィールドパビリオン" is written in white. Below that, the main title "スマホで作成！メタバースワークショップ" is displayed in large, bold, white and yellow characters. Underneath the title, the subtitle "～世界へ届けるタビマエ体験～" is written in a smaller, white font. At the bottom, there are two circular buttons: a light blue one with a pencil icon and the text "登録する" (Register), and a pink one with a question mark icon and the text "質問はこちら" (Ask questions here).

（各会場20名上限に参加者募集を実施）

< 講習会当日の状況 >

会場	日程	施設名 (所在地)	受講者数
姫路	1月18日 (木)	姫路商工会議所 (姫路市下寺町43)	10名
豊岡	1月19日 (金)	豊岡市民プラザ (豊岡市大手町4-5)	12名
神戸	1月22日 (月)	NTT西日本兵庫支店 (神戸市中央区海岸通11)	18名
計3会場			計40名

受講者はその後自らメタバース作成に挑戦。
その成果の一部はひょうごフィールドパビリオン公式HPに掲載。

<https://expo2025-hyogo-fieldpavilion.jp/meta/>
※柏原加工紙株式会社、兵庫苔ラボ、家島諸島都市漁村交流推進協議会の3つが講習会参加者の作品

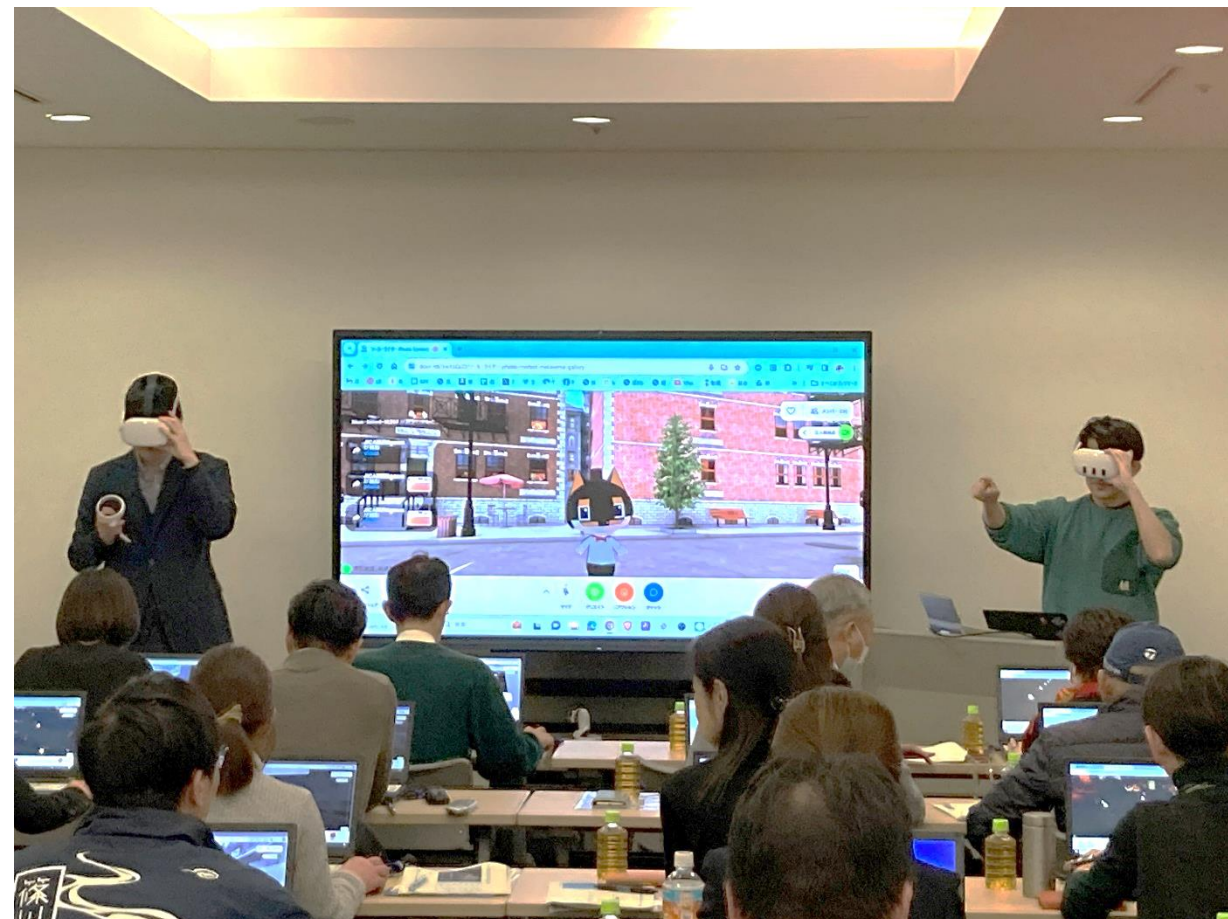


1/18 (姫路)

1/22 (神戸)



1/19 (豊岡)



(参考)

1 スマホのLiDAR技術を活用したメタバーズ・3Dモデル作成とは

LiDAR (Light Detection and Ranging) とはレーザー光線を使って対象物の距離や形状を測定する技術です。

LiDARを搭載したスマホで撮影すると、対象物の3Dデータが取得できます。iPhoneの一部機種では、このLiDAR技術が搭載されています。この技術で取得した3Dデータを活用してメタバーズ空間や、3Dオブジェクトを作成することが可能です。

2 メタバーズ公開までの流れ

- (1) 講習会を受講
- (2) 受講者自らが、関係するフィールドパビリオンに関わるテーマで3Dスキャン、メタバーズ等を作成（電話、メールでアフターフォローを実施）
- (3) 作成したメタバーズ等を兵庫県へ提出
- (4) ひょうごフィールドパビリオン公式HPやSNSで公開（2024年3月末）



3 期待する活用方法

(1) タビマエ体験

観光地やイベントを訪れる前に、バーチャル上で体験することで、旅行の計画を立てたり、旅行先の魅力をより深く知るきっかけとなる。

(2) ECサイトへの誘導

メタバーズ上で商品やサービスを体験することで、ユーザーの興味や関心を高め、自社サイトへの誘導を促す。

(3) 校外学習や修学旅行などの事前学習

フィールドパビリオンをバーチャル上で事前学習することで、校外学習や修学旅行、観光等の際に、より深い理解を得る。